

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京田辺市立薪小学校 】

<スポーツ庁テーマ>

1 実践テーマ	【 III・V 】
2 実施対象者	京田辺市立薪小学校 6年生
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (体育)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の有無に関わらず、共に力を合わせて生活できる「共生社会」を実現するため、障害者理解の学習・体験を通じ、多様性を尊重し、障害者を理解する心のバリアフリーを浸透させる。 ・オリンピックやパラリンピックの意義や歴史や開催種目等を知ることにより、オリンピック・パラリンピックへの関心を高め、夢に向かって努力したり、困難を克服しようとしたりする意欲を培う。
5 取組内容	<p>1 オリパラ推進校プロジェクト組織確立（5月）</p> <p>(1) 研究内容整理</p> <p>(2) 研究計画作成</p> <p>2 オリパラ教育推進事業</p> <p>(1) ボッチャの体験学習 令和2年12月14日 講師 トヨタカローラ京都 株式会社より2名来校</p>





3 オリンピック・パラリンピックの意義や歴史等についての学習

- (1) 6年生「総合的な学習の時間」での調べ学習
- (2) 6年生「外国語活動」オリパラの開催種目について

<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ボッチャ」の体験学習の前に、「ボッチャ」とはどういった競技であるのかを動画等を見ながら学習したことで、児童の興味・関心を高め、見通しを持って体験学習に取り組むことができた。 ・トヨタカローラ京都の講師の方に、「ボッチャ」普及の目的について話を聞いたことで、「ボッチャ」は障害の有無や年齢に関わらず楽しめるスポーツであることを知り、その他のパラリンピック種目についての関心も高まった。 ・「ボッチャ」の審判を児童が交代制で行うことにより、試合を行う対象に応じて、ルールの変更や工夫により楽しめることを知ることができた。
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ボッチャ」体験学習において、児童が審判を行うことで、「ボッチャ」についての理解が深まった。また、限られた時間の中で、活動時間を増やすことができた。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ボッチャ」の体験学習は、学年全体で2時間での実施であったため、概ね体験で終わったしまった。3時間設定であれば、講師の方の講演等において、パラリンピックについての理解を深めることが可能である。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科・領域と関連させ、全校的な取組として継続・発展させていく。 ・「ボッチャ」の体験学習により、「ボッチャ」は多くの人を楽しめるスポーツであることを知ることができたので、来年度も特別活動や行事等で取り組んでいく。